

箕面市食品ロス削減推進計画（素案）に係るパブリックコメント

いただいたご意見と市の考え（回答）

	いただいたご意見	市の考え(回答)
1	<p>(1)素案の「0.はじめに」は、食品ロスがもたらす地球規模の莫大な損失、温暖化の一因である事など提示していただき世界でのSDGsの2030年食品ロス半減などの目標と重なることなどで箕面市、大阪府のみならず地球の未来への改善に向けた施策である事を理解していただくことが、食品ロス削減に向けて一層積極的に臨んでいただけるのではないのでしょうか。</p>	<p>・「0.はじめに」に“世界の動き”と”SDGsとの関係”を追記しました。</p>
	<p>(2)事業者、スーパーに向けて上記のような資料を配布していただき、店内などに掲示していただく事等も如何でしょう。小学校でも子どもたちに伝えるなどをすれば、家庭へのすばらしいメッセージになってくれるとも思います。また、ローリングストックの活用レシピの提案もしていただければと思います。</p>	<p>・情報発信の手法について、「3.2.消費者への取組」中(1)に追記しました。</p> <p>・子どもたちへの啓発について、「3.2.消費者への取組」に新たな項目を追加しました。</p> <p>・災害用備蓄品に関して、「3.2.消費者への取組」に新たな項目を追加しました。</p>
	<p>(3)箕面市食品ロス削減推進計画、箕面市一般廃棄物処理計画からしましても、堆肥化事業はその意図を満たし、微量であったとしても焼却によるCO₂を出さず資源化土に戻ります。まさに循環していると言えるのではないのでしょうか。対価では表せない意義があるはずでず。資源化を止める事は環境負荷を軽減、減少させる道の歩みを後退させるのではないのでしょうか。製造復活を願います。</p>	<p>・ゆずる完熟堆肥事業は、「箕面市新改革プラン」(令和3年2月策定)において、公益性、必要性、費用対効果等の幅広い観点から全事業を点検した結果、費用対効果の観点から事業の終了となりました。</p> <p>・発生抑制と資源化はともに大切な取組ですが、特に食品廃棄物については、発生抑制に関心が高くなっていますので、発生抑制に資する「食品ロス削減」に注力してまいります。</p>
2	<p>(1)箕面市では学校給食の残渣を使ったたい肥作りを行って販売するという活動が根付いています。ぜひその輪を拡げ</p>	<p>・ゆずる完熟堆肥事業は、「箕面市新改革プラン」(令和3年2月策定)において、公益性、必要性、費用対効果等の幅広い観点</p>

	てほしいと思います。	から全事業を点検した結果、費用対効果の観点から事業の終了となりました。 ・発生抑制と資源化はともに大切な取組ですが、特に食品廃棄物については、発生抑制に関心が高くなっていますので、発生抑制に資する「食品ロス削減」に注力してまいります。
	(2)食品ロス削減計画を箕面市が策定するにあたり、「資源循環」という視点の教育を今後も継続、発展させることをこの計画盛り込んでいただきたい。	・食品ロス削減の取組は、食品廃棄物の発生抑制に資する施策であり、「資源循環」の視点は馴染みがたいと考えています。 ・発生抑制と資源化はともに大切な取組ですが、特に食品廃棄物については、発生抑制に関心が高くなっていますので、発生抑制に資する「食品ロス削減」に注力してまいります。
3	(1)学校における課題への取り組み方法の工夫を例示していただきたい。(自分で料理をする。給食について知る。市の取り組みを知る。等)	・今後、子どもたちに向けて情報発信する際に、ご指摘の視点を参考にいたします。
	(2)市民の意識調査の例示を「府の意識調査」から上位3つの項目の選択としていますが、府の意識調査の項目には、小中学生にわかってほしい取り組みが並んでいるのではないのでしょうか。小中学生の意識調査とそれ以降の人を対比してコメントする成果を検討してほしい。	・市民満足度調査は、調査の性質上、16歳以上の市民が対象となり、子どもを調査対象にすることができません。 ・ご指摘のとおり府の意識調査における項目は、大人にも子どもにも取り組みやすいものが挙げられていますので、今後の啓発や情報発信の際に参考にいたします。